

事務事業評価における総括

部 局 名	監査事務局	記入責任者	角田 直也
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>施策指標としている定期監査の指摘件数は 11 件で、令和 2 年度に比べ 13 件減少しています。引き続き、監査計画に沿って、適切に各事業を実施していきます。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>各課担当者の業務経験不足からと見られる不備や誤りのほか、決裁者、確認者側のチェック漏れと思われるものが多かったことが課題となっています。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>事業全体は、順調に進捗しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて監査手法の見直しを図りながら、継続して進めていきます。その中で、施策指標としている定期監査の指摘件数の減少は見られますが、指摘事項の是正について、各関係部局と連携を図るとともに、指摘事項のあった課かいに対しては、フォローアップを行い、財務事務等のミスの再発を防止し、適正で効果的な事務執行を確保します。</p> <p>また、監査の質を向上し、適切かつ効率的な監査・検査等を実施するためには、職員の監査技術のスキルアップが不可欠です。局内ミーティングでの情報共有や実務経験が豊富な職員との実査などの OJT 等を通じて実務能力の向上を図るとともに、専門性の更なる向上に向けて職場外研修へも積極的に参加し、職員一人一人の資質の向上を図ります。</p> <p>今後も、茅ヶ崎市監査委員監査基準に基づき、独立した執行機関として、公正で合理的かつ能率的な市の行政運営を確保するために監査・検査等を適切に実施し、市の行政執行の適法性、効率性、妥当性の維持、確保に努めます。</p>			